



第 10 号
 平成21年11月26日
 発行
 朝日庄内森林環境保全
 ふれあいセンター

朝日山地森林生態系保護地域の保全管理 (今年度の活動概要)

朝日山地森林生態系保護地域管理委員会 7月3日開催 モニタリング調査、巡視活動などについて議論。

モニタリング調査 平成15年度から朝日町で調査を実施してきましたが、今年度からより広範な植生の動態を把握するため新たに4箇所の調査地を順次設定し、5年サイクルで調査を継続することとしました。今年度は大鳥地域で調査を行いました。また、溪流魚の調査は継続して実施しています。

巡視員会議 7月4日開催 今年度の活動方針などについて意見交換しました。

合同パトロール 山岳・溪流4コースに19名参加

国有林の職員と巡視員との合同パトロールを8月1～2日に4ルートで実施しました。各コースとも入山者へのマナー指導とゴミの回収を行いながら、保全管理に係わる事項について点検を行いました。結果は12月に行われる巡視員会議に報告し、今後の保全管理に反映していくこととしています。

ルート	月日
大鳥池	8月2日(9名)
天狗角力取山	8月1日(3名)
祝瓶山	8月2日(4名)
朝日川(朝日俣沢)	8月1日(3名)



朝日俣沢



三角池のほとり



祝瓶山



天狗角力取山

巡視員記章デザイン決定



朝日山地森林生態系保護地域巡視員の記章のデザインが公募により決まりました。秋田市在住の高橋司さん・阿部健一さんの作品で、応募された7点の中から選ばれたもの。

このデザインのワッペンと帽子を、巡視員会議で配布しました。

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生活動

ナラ枯れ被害木の伐倒とキノコのコマ打ち体験

旧最上川スキー場周辺では以前からカシノナガクイムシによるナラ枯れが発生していましたが、今年は旧ロッジ付近でも多くの被害が発生しました。このため当初計画を変更して被害木の処理を実施しました。カシナガの幼虫は枯れた木の中で成長して来夏羽化して被害を拡大します。この住み家を短尺処理により乾燥させて駆除するものです。

11月14日、あいにくの雨の中、また新型インフルエンザの影響で子供達の参加も得られない中、18名の参加者により伐倒処理を行いました。

また、伐倒木上部の虫のいない箇所にはシイタケやナメコのコマを打ち付け、来年以降の楽しみとしました。



被害木にはカシナガの幼虫が

(今年度の活動概要)

- 5月20日 第3回自然再生実施協議会開催
- 7月8日 ブナ等山取苗の植え付け
- 7月31日 刈り払いと幻想の森散策
- 10月17日 モニタリング調査
- 11月14日 ナラ枯れ被害木の伐倒とキノコのコマ打ち体験



雨の中の作業を終えて お疲れ様でした

朝日自然塾

第2回プログラム

カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察

6月13日、山形市内の小学生親子22人が参加して開催されました。集合場所の大井沢自然博物館前から期待に胸を膨らませてカッチャバ湿原に向かいました。湿原についた頃からあいにくの小雨模様となりましたが、雨の中でも、子供達の生き生きと輝き湿原の昆虫を追っていました。



ハッチョウトンボ発見！

第4回プログラム

釣りキチあつまれ！朝日山地で森とイワナを学ぼう

7月11日、西川町大井沢の大井沢川で小学生等の親子41名の参加で開催されました。

イワナの仕掛けや、川での注意事項等の説明の後、3班に分かれて大井沢川へ。期待を胸に早速竿を振り込みました。ほどなくあちこちで釣れはじめ、子供も親も夢中で釣っていました。

午後は、「森とイワナの話」など講師の話を楽しみながら楽しい一日が終わりました。

第3回プログラム

伝説の大鳥池を訪ねて

6月26日、朝日小学校5年生30名、先生やスタッフなども含め総勢47名で、大鳥交流体験学習として実施されました。

天気が心配でしたが、梅雨の合間をぬっての晴、暑くもなく絶好の登山日和で、全員元気に大鳥登山を満喫しました。



伝説の大鳥池をバックに全員で記念撮影



イワナゲット！

酒田北高校森林整備ボランティア活動を支援

5月28日に、酒田市の北港緑地公園周辺（宮海国有林）のクロマツ林で行われた酒田北高等学校の全校生徒（222名）による森林ボランティア活動の指導を行いました。この活動は、酒田北高等学校の生徒会活動の一環として毎年実施しているもので、当センターも参画している「出羽庄内公益の森づくりを考える会」が支援を行っているものです。炎天下、約1時間程度の作業の後にはクロマツ林もサッパリとした姿に変化しました。



生徒達に下刈り鎌の使用方法をレクチャー



みどりの保育園を支援

クロマツ探検隊

4月10日（金）4月晴れの中、クロマツ探検隊 を開催し、今年度、新たに年長組となった園児25名が、胸をときめかせながら元気に参加しました。

冒頭、当センター職員の紹介や注意事項の説明などの後、歩いて近くのクロマツ林に向かいました。

昔、砂山だったところに苦労して植えて育てたクロマツが、地域の人達の生活や農作物を風や飛砂の害から守っている話をすると、松林への思いも少し変化したようで、「クロマツさんありがとう」とお礼を言う子もいました。

サギのコロニーでは、望遠鏡で観察しながら、時々飛び立つサギに歓声を上げていました。



色々な種探しにも挑戦しました。クルクル回りながら落下するカエデの種を見て驚いていましたが、直ぐに自分たちも飛ばそうと積極的に参加しました。

巣箱づくり

4月28日

（火）巣箱作りと設置を行いました。

春の太陽が降り注ぐ中、25名の園児と21名の保護者が、制作に取りかかりました。組み立て方をみんなで考えて作ることにし、あえて指導しませんでしたので、各グループで組み立てる順序がまちまちになりました。

最初は恐る恐る釘を打っていた園児達も、打つコツを覚えると金槌の使い方も上達して、30分位で完成させることができました。完成した巣箱には鳥、花の絵や自分の名前などを夢中になって書きました。

完成した巣箱は保育園周辺のクロマツ林内に設置しました。

今回は庄内森林管理署の治山課長も指導に参加してくれました。国有林をフィールドに実施する森林環境教育には地元の森林管理署の協力が不可欠ですので、今後も連携を深めて森林環境教育プログラムの充実を図って行きたいと考えています。



朝日庄内プロジェクトの改訂に向けて

リニューアル検討委員会

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターは平成16年



に策定した「森林生態系ネットワーク保全再生モデルプロジェクト」に基づき業務を行ってきました。

しかしながら、5年が経過し本プロジェクトを取り巻く情勢や本プロジェクトに対する期待も変化してきていることから、プロジェクトの改訂について検討するため、9月24日と10月29日に学識経験者等からなる検討委員会を開催し、改訂案を策定しました。

パブリックコメント

現在、この改訂案について、広くご意見を募るため、インターネット上でパブリックコメントを実施しています。(11月30日まで)

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/pabu.html>

今後、提出いただいた意見・情報を考慮した上で、プロジェクトの改訂を行うこととしています。

ホームページ移転のお知らせ

11月2日よりホームページのアドレスが変わりました。東北森林管理局のページの一部になった形ですが、朝日センターらしさを意識したページにしていきたいと思っておりますので、是非ご覧下さい。



<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>

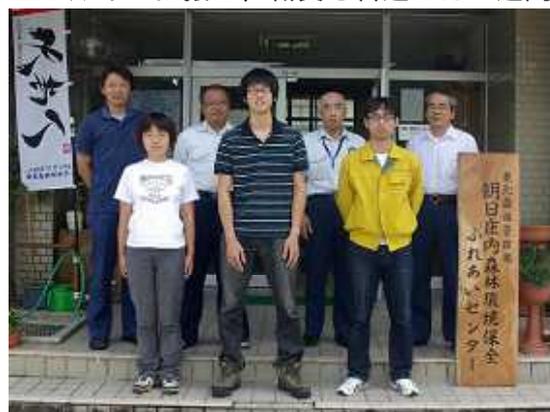
編集後記

また発行間隔が延びてしまいました。昨年来朝日山地周辺で猛威を振るっているウエツキブナハムシは、今年更に被害区域を拡大し、生態系保護地域内にも広く侵入しました。一方、最初の発生地、六十里山周辺は激害ながら幼虫数は少なく、終息の兆しも見えてきました。今後も動向を見守りたいと思います。初期には豊作だったブナの実も未熟なまま落下したものが多く、動物達の餌事情が心配されましたが、被害の間隙をぬって完熟したものもまま見られました。完熟を待たずに柵を作って食べているクマも確認できました。無事冬ごもりに入ってくれることを期待したいと思います。

平成21年度インターンシップを受け入れ

8月5日から11日まで、平成21年度東北森林管理局インターンシップを受け入れました。この制度は、実際の行政実務に接することにより、学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として実施しているものです。今年は、山形大学、日本大学の3名の学生が、ふれあいセンターが行っている森林生態系保護地域の保全管理や自然再生・森林環境教育等の業務について実習しました。

若いエネルギーに接し、職員も若返った一週間でした。



実習内容

月日	内容
8月5日(水)	オリエンテーション、局からセンターに移動 ふれあいセンターの事業概要説明等
8月6日(木)	高館山・庄内海岸林巡視活動
8月7日(金)	モニタリング調査(センサーカメラ設置) 室内業務
8月8日(土)	土湯の森自然再生活動実践
8月9日(日)	朝日山地巡視活動(古寺鉱泉～小朝日岳)
8月10日(月)	緑の回廊巡視(鳥海山) モニタリング調査(センサーカメラ回収・解析)
8月11日(火)	室内業務・オリエンテーション

発行

東北森林管理局 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3

TEL: 0235-58-1730 FAX: 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

Home Page:

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>